

■ 1. 法学科で学ぶにあたって

1. 法学部の教育目標

法学部法学科の教育は、豊かな教養に裏づけられ、社会の要請に応えうる法的思考能力と規範意識を身につけた人材を養成することを目標として、「リーガルマインドの育成」と「目に見える成果の達成」という2つの教育方針に沿って行われています。それによって、皆さんが、進路に応じた分野で活躍し、社会の発展に貢献することを期待しています。私たちは、法学部全スタッフによる責任ある体制の下で皆さんに法学教育を提供します。

2. 法学科のカリキュラムの考え方

(1) 法学部の教育目標と法学科カリキュラムの基本構想

法学科のカリキュラムは、「リーガルマインドの育成」と「目に見える成果の達成」という教育方針に沿って体系化されています。平成21年度から採用されたコース制は、この2つの教育方針に沿って、将来の職業像（公務員、警察官・消防士、民間企業、司法関係）に応じた法学教育を系統的に行い、豊かな教養とリーガルマインドを修得した専門的職業人を養成するために設置されたものです。

(2) カリキュラムの体系

法学科のカリキュラムは、大きく、基幹的科目（公法、民事法、刑事法、社会法、基礎法、政治学、関連科目）・コース科目・演習科目・卒業研究・特講科目から構築されています。以下、その概要を説明します。

① 基幹的科目について

教育重視型法学部教育の根幹をなすもので、法律・政治学の専門科目（公法、民事法、刑事法、社会法、基礎法、政治学）と社会への理解と洞察力を深めて豊かな教養を醸成する諸科目（関連科目）からなります。

② コース科目

法専門職コース、行政とまちづくりコース、パブリックセキュリティコース、企業と環境・消費者コースに特有の知識を習得することを目標としています。

③ 演習（ゼミナール）について

教育重視型少人数教育の中心となるもので、1年生から4年生の全学年に配置されています。

入門演習Ⅰ・入門演習Ⅱ（1年次必修）

入門演習Ⅰ・Ⅱは、共通科目に配置されていますが、一体となって、学問・演習への入門科目と位置づけられています。わかりやすい文章でレポートを作成する技法を習得することを目標に、そのための情報収集能力やディスカッション能力を養います。同時に、コミュニケーション能力、協調性、指導力を高めることをねらいとしています。

自由演習（2年次選択）

自由に設定された様々なテーマの下で調査研究を行うことにより学問への知的好奇心を喚起し、多様な社会問題を論理的・客観的に分析し適切に対処できる柔軟な知性を涵養することを目的とします。

演習Ⅰ（3年次必修）・演習Ⅱ（4年次必修）

本格的な学問研究を2年間にわたって積み重ね、専門的職業人としての資質と能力を養成します。大学生生活を締めくくる拠点ということができるでしょう。

④ 卒業研究（4年次必修）

大学生生活の総括として、演習Ⅰ・演習Ⅱを中心とした学問研究の成果を完成させます。

⑤ 特講科目について

公務員（警察官・消防士を含む）・司法書士・行政書士・法科大学院入学試験など将来の職業に就くための試験に直接的に役立つ知識を教授することを主目的とする科目です。以下に、その目標別の履修モデルを提示します。

表 特講科目およびコース科目中の特論科目履修モデル

学年	1年	2年	3年	4年
法学検定試験対策	法学特講Ⅰ	法学特講Ⅱ 法学特講Ⅲ（総合）		
公務員教養試験・ 警察官・消防士試験 対策		教養特講（推論）Ⅰ	教養特講（推論）Ⅱ 教養特講（推論）Ⅲ 教養特講（社会） 教養特講（人文） 教養特講（自然）	
公務員専門試験対策		行政特講（憲法演習） 行政特講（政治学・行政 学演習）	行政特講（行政法演習） 行政特講（民法演習） 行政特講（ミクロ経済学） 行政特講（マクロ経済学） 行政特講（財政学）	
行政書士試験対策		行政特講（憲法演習）	行政特講（行政法演習） 行政特講（民法演習） 行政書士特講Ⅰ 行政書士特講Ⅱ	
司法書士対策試験		行政特講（憲法演習） 憲法特論 民法特論 刑法特論	行政特講（民法演習） 商法特論 登記法Ⅰ 登記法Ⅱ	
法科大学院進学対策		教養特講（推論）Ⅰ 行政特講（憲法演習） 憲法特論 民法特論 刑法特論	教養特講（推論）Ⅱ 推論特講（法律）Ⅰ 推論特講（法律）Ⅱ 行政特講（行政法演習） 行政特講（民法演習） 行政法特論 商法特論 訴訟法特論	

- ・ 法学検定試験は、法律学の知識・能力の客観的到達度をはかる試験で、ベーシック<基礎>、スタンダード<中級>、アドバンスト<上級>などがあります。法律について一定の知識・能力を証明されたこととなりますから、就職活動の際の有効なアピール材料ともなります。平成12年から実施されています。
- ・ 行政書士は、行政書士法にもとづく国家資格者で、他人の依頼を受け報酬を得て、役所に提出する許認可等の申請書類の作成ならびに提出手続代理、遺言書等の権利義務、事実証明および契約書の作成等を行います。
- ・ 司法書士は、他人の依頼を受けて、不動産登記・商業登記・供託の申請・手続の代理・裁判所に提出する訴状・答弁書等の書類の作成などを業とします。平成15年から簡易裁判所での訴訟代理権が付与されています。
- ・ 法科大学院とは、法曹（裁判官・検察官・弁護士）の養成を目的とした専門職の大学院です。法曹資格を得るための司法試験を受験するには、原則として、法科大学院を修了する必要があります。

3. コース制について

皆さんの将来目標に合わせて、法専門職コース、行政とまちづくりコース、パブリックセキュリティコース、企業と環境・消費者コースの4コース制を採用しています。

法専門職コース

法曹（裁判官・検察官・弁護士）や準法曹（司法書士・行政書士）を目指す学生が学ぶコースです。社会で生じる紛争に対してリーガルマインドをもって合理的解決にあたる高度な法律学の知識と正義感をもった人材を養成します。さらに、そうした法曹を効率的にサポートできる裁判所職員や法律事務職員を育成します。

法科大学院制度の創設により、法曹になるためには、原則として法科大学院を卒業し、司法試験に合格する必要があります。本コースは、法律職に就くために要する試験（LSAT・法科大学院入学試験、司法書士試験）の合格と同時に、わが国の司法制度を支える資質と能力をもつ人材を育成することをねらいとしています。そのため、法科大学院の適正試験（LSAT）に対応する「推論特講Ⅰ・Ⅱ」を設けるとともに、優れた法曹に求められる資質を養い論文試験に対応するコース科目（憲法特論、民法特論、刑法特論、商法特論、行政法特論、訴訟法特論）を配置しています。

また、特講科目「登記法Ⅰ・Ⅱ」を開設し、司法書士試験に対応した講義を展開します。司法書士を目指す学生は、これらの科目と憲法・民法などについての特講科目を履修することが望まれます。さらに、法律事務職員を目指す学生は、法律事務特別講座を履修することが必須です。

行政とまちづくりコース

公務員を目指す学生が学ぶコースです。地方自治を担い、地域社会に密着しつつ、豊かなまちづくりを推進できる公務員を育てます。さらに、地域の活性化を様々な側面から応援できる人材を育成します。

国家公務員や自治体職員は、社会の問題状況を的確に認識し、それを効果的・効率的に解決する公共政策を立案し、運営していかねばなりません。また、まちづくりを担う人材の育成も重要です。そのため、本コースでは、コース科目「まちづくり」を設けるとともに、高度の政策形成能力や実践的法技術を修得できる諸科目を履修できるようにしています。さらに、公務員試験合格を全面的にバックアップするため、「コース演習（公務員）Ⅰ・Ⅱ」を設けるとともに「行政特講」および「教養特講」の諸科目を設け、公務員試験の専門科目対策と教養試験対策を講じています。

パブリックセキュリティコース

警察官や消防士を目指す学生が学ぶコースです。それぞれの採用試験のための学修だけでなく、採用後にも専門知識を生かして活躍できる人材を養成します。社会におけるセキュリティについての自覚と責任を涵養するだけでなく、正義を追求し、人権に関する諸問題にも充分に対応できる、加えて将来的には警察行政・消防行政の一翼を担えるような企画立案力をもった人材を養成するコースです。

そのため、本コースでは、コース科目「行政政策研究（警察）」「行政政策研究（消防）」「コース演習（刑事法）」を設けています。また、警察官・消防士試験対策として、「教養特講」科目を設けて、万全な試験対策を講じることとしています。

企業と環境・消費者コース

環境保全や消費者保護について適正な規範意識をもった企業人を養成するコースです。地域密着の民間企業から外資系企業にいたるまで、いずれの企業においても、法令遵守（コンプライアンス）が求められており、とりわけ消費者問題や環境問題についての一定の知識は現在の企業人にとっては不可欠のものです。そのため、このコースでは様々な学際的学修も積極的に推奨しています。

本コースでは、このような目的を達成するため、「コース演習（環境法）」「コース演習（環境学）」「コース演習（消費者法）」「コース演習（企業取引）」とともに学際的な学修ができるようなカリキュラムを組んでいます。

また、企業の採用時に有効なアピールとなる行政書士、宅建、法学検定試験合格のために、「行政書士特講Ⅰ・Ⅱ」・「法学特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を開設し、学生の資格取得をバックアップしています。

4. 履修のしかた

(1) 専門科目

専門科目には、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」があります（P.57以降の教育課程表参照）。

- ① 必修科目 必修科目は、必ず修得しなければならない科目です。1年次の「法学入門」「憲法入門」「民法入門」、3年次の「演習Ⅰ」、4年次の「演習Ⅱ」「卒業研究」がそれにあたります。
- ② 選択科目 選択科目は、「演習」「公法」「民事法」「刑事法」「社会法」「基礎法」「政治学」「関連科目」「コース科目」からなります。これらの科目の中から、48単位以上、修得する必要があります。なお、コース科目は、そのコースを選択した人以外は、履修できません。
- ③ 自由科目 自由科目は、特講科目からなります。特講科目は、司法関係職、民間企業、公務員、警察官・消防士などの卒業後の進路に即した実践的な授業を展開する科目です（P.58参照）。自由科目は、卒業単位には算入されませんので、注意してください。

(2) 共通科目（P.59以降の教育課程表参照）。

- ① 必修科目 入門演習Ⅰと入門演習Ⅱは、必修科目です。
- ② 単位数 共通科目について、平成21・22年度の入学生は、12単位以上（入門演習Ⅰと入門演習Ⅱを含む）修得する必要があります。
共通科目について、平成23年度以降の入学生は、24単位以上（入門演習Ⅰと入門演習Ⅱを含む）修得する必要があります。
- ③ 体育実技について、履修限度単位数には含めません。（平成23・24年度入学生）

(3) 他学部他学科履修

他学部他学科の専門科目の修得単位は、26単位まで共通科目として卒業単位に算入できます。

(4) 資格取得の単位認定

特定資格の取得は、申請により単位を認定されます。どのような資格が単位取得の対象となるかは、P.56を参照してください。

(5) 履修科目の登録上の注意事項

- ① 上級年次の授業科目を履修することはできません。
- ② セメスター別の履修限度単位数（1セメにつき22単位）を超えて履修することはできません。ただし、前のセメスターのGPAが3.0以上である場合は、26単位まで履修できます。
- ③ クラスが指定されている科目については、学生支援オフィスの指示にしたがい、履修登録を行ってください。

2. 各種の資格取得について

① 単位認定

各種の資格を学外の各検定機関による能力評価とみなし、在学中の資格取得に対して単位認定し、一定の方式で卒業単位に組み入れることができるようにしています。該当する資格と単位数については以下の表を参照してください。

- 申請対象 入学後に取得した次表の資格
 申請期間 春学期での単位認定：平成27年7月（予定）
 秋学期での単位認定：平成28年1月（予定）

② 受験料の補助

特定資格を取得した時、申請すれば受験料の一部の補助を受けられます。

- 申請対象 本年度に取得した次表の資格
 申請期間 平成27年10月（予定）
 平成28年1月（予定）
 平成28年3月（予定）

※受験料の補助は取得年度内での申請が必要となりますので注意してください。

※受付が始まる時は掲示します。

資格取得についての単位数

1) 「英語検定」

レベル	英検*	TOEIC	TOEFL (paper)	TOEFL (CBT)	TOEFL (iBT)	単位数	科目名
I		550～599	470～499	153～172	49～53	4単位	N (英語検定Ⅱ)
Ⅱ	準1級	600～729	500～549	173～212	54～66	4単位	N (英語検定Ⅲ)
Ⅲ	1級	730～	550～	213～	67～	4単位	N (英語検定Ⅳ)

* 実用英語技能検定（日本英語検定協会主催）合格。TOEIC と TOEFL 欄の数字は点数（スコア）

* 各レベルに達した者で、それより下位レベルの点数や級数を取得していない者は、当該下位レベル全ての単位をも取得したものとみなす。

2) 法律関係

資格等名称	単位数	科目名
司法書士	12単位	N (司法書士)
社会保険労務士	8単位	N (社会保険労務士)
行政書士	6単位	N (行政書士)
宅地建物取引主任者（財団法人不動産適正取引推進機構主催）	2単位	N (宅建)
法学検定ベーシック<基礎>	2単位	N (法学検定基礎)
法学検定スタンダード<中級>	2単位	N (法学検定中級)
法学検定アドバンスト<上級>	2単位	N (法学検定上級)

* 財団法人日弁連法務研究財団・社団法人商事法務研究会主催、法学検定委員会が実施する「法学検定試験」の結果

* 法学検定アドバンスト<上級>合格者で、法学検定スタンダード<中級>およびベーシック<基礎>に合格していない者は、当該スタンダード<中級>およびベーシック<基礎>にも合格したものとみなし、6単位を認定します。また、法学検定スタンダード<中級>合格者でベーシック<基礎>に合格していない者は、当該ベーシック<基礎>にも合格したものとみなし、4単位を認定します。

3) 認定される単位数の上限について

22単位まで卒業必要単位に算入できます。

3. 法学科教育課程表

法学科教育課程表

(平成23~24年度入学生に適用)

区分		学年		1年	2年	3年	4年	単位数
専門科目	必修科目	入門科目	法学入門 2 憲法入門 2 民法入門 2					合計128単位以上修得 〔共通科目 24単位以上(入門演習Ⅰ・入門演習Ⅱを含む) 64単位以上(法学入門・憲法入門・民法入門・演習Ⅰ・演習Ⅱ・卒業研究を含む)〕
		演習・研究			演習Ⅰ 4	演習Ⅱ 4 卒業研究 2		
	選択科目	演習		自由演習 2				
		公法	憲法(統治) 2	憲法(人権) 4 行政法(総論) 2	行政法(行政救済) 4 行政法(行政組織) 2 行政地方自治法 2 行政政策法 2 国際法 4			
		民法	民法(総則) 4 民法(親族) 2	民法(物権) 4 民法(債権総論) 4 商法(総則・商行為) 4 会社法 4	民法(債権各論) 4 民法(相続) 2 民事訴訟法 4 手形小切手法 4 知的財産法 2 国際私法 2 登記法Ⅰ 2 登記法Ⅱ 2 法律事務特別講座 2			
	択科	刑事法	刑法(総論) 4	刑法(各論) 4 刑事訴訟法 4				
		社会法			労働者保護法 4 社会費者法 2 環境法 2 環境法 4			
		基礎法			法社会学 4 法英法外米制史 4 外国法律思想書講 2 法社会学 4			
			政治学	自治原論 4	政治原論 4 行政学 4 比較行政研究 2	政治学 2 本政治史 2 行政倫理 2 自治体財政論 2 N P O ・ N G O 論 2 公共政策論 2 現代日本政治論 2 地方政治論 2 自治行政特講 2		
		関連科目	社会学概論 2 環境学 4 法・政英語コミュニケーション 2 日本文学 4 外国文学 4 哲学概論 2 倫理学概論 2 日本史 4 外国史Ⅰ(東洋史) 2 人文地理学 2 地誌学 2	経済原論 4 社会思想史 2 外国史Ⅱ(西洋史) 2 西洋史特論 4 生命論 2 自然地理学 2	財経学 2 経営学概論 2			

区分		学年	1年	2年	3年	4年	単位数
専 門 目	選 択 科 目	法 専 門 職 コ ー ス		憲 法 特 論 2 民 法 特 論 2 刑 法 特 論 2	行 政 法 特 論 2 商 法 特 論 2 訴 訟 法 特 論 2		
		行政とまちづくり コ ー ス		コース演習(公務員)Ⅰ 2 まちづくり 2	コース演習(公務員)Ⅱ 2		
		パブリック セキュリティ コ ー ス		コース演習(刑事法) 2	行政政策研究(警察) 2 行政政策研究(消防) 2		
		企業と環境 消費者コース		コース演習(環境法) 2 コース演習(環境学) 2 コース演習(消費者法) 2 コース演習(企業取引) 2			
科 目	自 由 科 目	法 学 特 講	法 学 特 講 Ⅰ 4	法 学 特 講 Ⅱ 4 法 学 特 講 Ⅲ (総 合) 2			
		教 養 特 講		教 養 特 講 (推 論) Ⅰ 2	教 養 特 講 (推 論) Ⅱ 2 教 養 特 講 (推 論) Ⅲ 2 教 養 特 講 (社 会) 2 教 養 特 講 (人 文) 2 教 養 特 講 (自 然) 2		
		行 政 特 講		行 政 特 講 (憲 法 演 習) 2 行 政 特 講 (政 治 学・行 政 学 演 習) 2	行 政 特 講 (行 政 法 演 習) 2 行 政 特 講 (民 法 演 習) 2 行 政 特 講 (ミ ク ロ 経 済 学) 2 行 政 特 講 (マ ク ロ 経 済 学) 2 行 政 特 講 (財 政 学) 2		
		行 政 書 士 特 講			行 政 書 士 特 講 Ⅰ 2 行 政 書 士 特 講 Ⅱ 2		
		司 法 特 講			推 論 特 講 (法 律) Ⅰ 2 推 論 特 講 (法 律) Ⅱ 2		

学年 区分	1年		2年		3年		4年		単位数
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
基 共 通 科 目	<表現力養成科目>								
	入門演習 I 2								
	入門演習 II 2								
	<外国語科目>								
	共通英語コミュニケーション入門 2		共通英語コミュニケーション初級 2		共通英語コミュニケーション中級 2		共通英語コミュニケーション上級 2		
	共通英会話入門 2		共通英会話初級 2		共通英会話中級 2		共通英会話上級 2		
	ドイツ語入門 I-A 2		ドイツ語入門 I-B 2		ドイツ語入門 II-A 2		ドイツ語入門 II-B 2		
	フランス語入門 I-A 2		フランス語入門 I-B 2		フランス語入門 II-A 2		フランス語入門 II-B 2		
	中国語入門 I-A 2		中国語入門 I-B 2		中国語入門 II-A 2		中国語入門 II-B 2		
	ロシア語入門 I-A 2		ロシア語入門 I-B 2		ロシア語入門 II-A 2		ロシア語入門 II-B 2		
	ハンブルグ語入門 I-A 2		ハンブルグ語入門 I-B 2		ハンブルグ語入門 II-A 2		ハンブルグ語入門 II-B 2		
	イタリア語入門 I-A 2		イタリア語入門 I-B 2		イタリア語入門 II-A 2		イタリア語入門 II-B 2		
	ラテン語入門 I 2		ラテン語入門 II 2		ギリシャ語入門 I 2		ギリシャ語入門 II 2		
	中国語トレーニング 2								
			ドイツ語初級 I 2		ドイツ語初級 II 2				
			フランス語初級 I 2		フランス語初級 II 2				
			中国語初級 I 2		中国語初級 II 2				
			ロシア語初級 I 2		ロシア語初級 II 2				
			ハンブルグ語初級 I 2		ハンブルグ語初級 II 2				
			イタリア語初級 I 2		イタリア語初級 II 2				
		ドイツ語中級 I 2		ドイツ語中級 II 2					
		フランス語中級 I 2		フランス語中級 II 2					
		中国語中級 I 2		中国語中級 II 2					
		ロシア語中級 I 2		ロシア語中級 II 2					
		ハンブルグ語中級 I 2		ハンブルグ語中級 II 2					
		イタリア語中級 I 2		イタリア語中級 II 2					
日本語入門 I 4		日本語入門 II 4							
日本語初級 I 4		日本語初級 II 4							
日本語中級 I 2									
日本語中級 II 2									
日本語 I 4									
日本語 II 4									
日本語応用 I 2		日本語応用 II 2							
<情報科目>									
情報リテラシー I 2									
情報リテラシー II 2									
<体育科目>									
		体		育		実		技 1	
教 養 目 科 目	< I類> (世界とわれわれ)								
	政治入門 2		歴史入門 2						
	異文化交流論 2		企業経営問題の最先端 2				国際関係論 2		
	国際交渉論 2								
	アジア経済論 2		アジア社会論 2				日韓関係の歴史 2		
	日中関係論 2		ロシア社会論 2						
	近世・近代の欧州 2		現代アメリカの経済と社会 2				国際政治学 2		
	西欧庶民生活の原像 2		西洋近世近代史 2				ヨーロッパ文明史 2		
	アクティブ・ラーニング 2								
	< II類> (現代社会と人間)								
	北海道学入門 2		法律入門 2						
	経営史概論 2		考古学への誘い 2				社会学入門 2		
	生活と文化 2		福祉社会論 2				歴史学概論 2		
	歴史と現代 2								
	現代社会と経済 2		現代社会と政治 2				政治学の基礎 2		
	法の基礎 I (憲法) 2		法の基礎 II (民法) 2						
	アイヌの歴史と社会 2		社会起業家論 2				先史学と北海道 2		
	< III類> (自然理解と情報)								
	数学入門 2		環境問題入門 2						
	解析基礎 2		科学技術論 2				自然科学概論 2		
自然と哲学 2		天文学への誘い 2				統計学基礎 2			
論理学概論 2									
健康論 2		自然環境論 2				身体論 2			

区分	学年 セメスター	1年		2年		3年		4年		単位数
		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
共通科目		人 類 学 2	社 会 と 情 報 2	地 球 環 境 の 科 学 2	情 報 技 術 論 2	動 物 の 行 動 2	情 報 デ ザ イン 論 2			
		<IV類> (人間と表現)								
		哲 学 入 門 2	近 代 哲 学 2	心 理 学 入 門 2	現 代 思 想 2					
		言 語 学 概 論 2	日 本 語 論 2	旅 と 文 学 2	文 学 と 現 代 社 会 2	日 本 語 表 現 法 2	文 学 と ジ ェ ン ダ ー 2			
		音 楽 通 論 2	心 身 実 習 A 2	楽 器 表 現 論 2	心 身 実 習 B 2	芸 術 論 2	神 話 と 芸 術 2			
		西 洋 美 術 史 2	ス ポ ー ツ と 文 化 2			表 現 と 文 化 2				
	科	キャリアアップ入門Ⅰ 2	キャリアアップ基礎Ⅰ 2	キャリアアップ入門Ⅱ 2	キャリアアップ基礎Ⅱ 2	キャリアアップ応用 2				
	目	キャリアアップ入門Ⅱ 2	キャリアアップ基礎Ⅱ 2							

備 考

1. 「コース科目」は、それぞれのコースを選択した者のみが履修できる。
2. 他学部履修による他学部専門科目の修得単位は、26単位まで共通科目として卒業必要単位数に算入できる。
3. 自由演習は複数履修できる。
4. 特講科目の修得単位は、卒業必要単位数に算入できない。
5. 体育実技の修得単位は、4単位まで共通科目として卒業必要単位数に算入できる。
6. 5セメスター以降の科目履修条件:①入門演習Ⅰ 2単位、入門演習Ⅱ 2単位を修得していること、②必修科目(法学入門、憲法入門、民法入門) 6単位を含む専門科目を20単位以上修得していること(自由科目を除く)、③修得単位の合計が40単位以上であること(自由科目を除く)。

(札幌大学学則 別表第7-(ア))

法学科教育課程表

(平成21～22年度入学生に適用)

区分		学年		1年	2年	3年	4年	単位数
専 門 科 目	必修科目	入門科目	法学入門 2 憲法入門 2 民法入門 2					合計128単位以上修得 〔共通科目 12単位以上(入門・演習Ⅰ・入門・演習Ⅱを含む)〕 〔専門科目(特講科目は除く) 64単位以上(法学入門・憲法入門・民法入門・演習Ⅰ・演習Ⅱ・卒業研究を含む)〕
		演習・研究			演習Ⅰ 4	演習Ⅱ 4 卒業研究 2		
	選択科目	演習		自由演習 2				
		公法	憲法(統治) 2	憲法(人権) 4 行政法(総論) 2	行政法(行政救済) 4 行政法(行政組織) 2 行政地方自治法 2 行政政策法 2 国際法 4			
		民事法	民法(総則) 4 民法(親族) 2	民法(物権) 4 民法(債権総論) 4 商法(総則・商行為) 4 会社法 4	民法(債権各論) 4 民法(相続) 2 民事訴訟法 4 手形小切手法 4 知的財産法 2 国際私法 2 登記法Ⅰ 2 登記法Ⅱ 2 法律事務特別講座 2			
		刑事法	刑法(総論) 4	刑法(各論) 4 刑事訴訟法 4				
		社会法			労働者保護法 4 社会費者法 4 環境法 2 環境法 4			
		基礎法			法社会学 4 英米法史 4 外国法思想史 2 外国法律書講読 4			
		政治学	自治原論 4	政治原論 4 行政学 4 比較行政研究 2	政治学 2 日本政治史 2 行政倫理 2 自治体財政論 2 NPO・NGO論 2 公共政策論 2 現代日本政治論 2 地方政治論 2 自治行政特講 2			
		関連科目	社会学概論 2 環境学 4 法政英語コミュニケーション 2 日本文学 4 外国文学 4 哲学概論 2 倫理学概論 2 日本史 4 外国史Ⅰ(東洋史) 2 人文地理学 2 地誌学 2	経済原論 4 社会思想史 2 外国史Ⅱ(西洋史) 2 西洋史特論 4 生命論 2 自然地理学 2	経営学概論 2 学 2			

法学部

区分		学年	1年	2年	3年	4年	単位数	
専 門 科 目	選 択 科 目	法 専 門 職 コ ー ス		憲 法 特 論 2 民 法 特 論 2 刑 法 特 論 2	行 政 法 特 論 2 商 法 特 論 2 訴 訟 法 特 論 2			
		行政とまちづくり コ ー ス		コース演習(公務員)Ⅰ 2 まちづくり 2	コース演習(公務員)Ⅱ 2			
		パブリック セキュリティ コ ー ス		コース演習(刑事法) 2	行政政策研究(警察) 2 行政政策研究(消防) 2			
		企業と環境 消費者コース		コース演習(環境法) 2 コース演習(環境学) 2 コース演習(消費者法) 2 コース演習(企業取引) 2				
	自 由 科 目	法 学 特 講	法 学 特 講 Ⅰ 4	法 学 特 講 Ⅱ 4 法 学 特 講 Ⅲ (総 合) 2				
		教 養 特 講		教 養 特 講 (推 論) Ⅰ 2	教 養 特 講 (推 論) Ⅱ 2 教 養 特 講 (推 論) Ⅲ 2 教 養 特 講 (社 会) 2 教 養 特 講 (人 文) 2 教 養 特 講 (自 然) 2			
		行 政 特 講		行 政 特 講 (憲 法 演 習) 2 行 政 特 講 (政 治 学 - 行 政 学 演 習) 2	行 政 特 講 (行 政 法 演 習) 2 行 政 特 講 (民 法 演 習) 2 行 政 特 講 (ミ ク ロ 経 済 学) 2 行 政 特 講 (マ ク ロ 経 済 学) 2 行 政 特 講 (財 政 学) 2			
		行 政 書 士 特 講			行 政 書 士 特 講 Ⅰ 2 行 政 書 士 特 講 Ⅱ 2			
		司 法 特 講			推 論 特 講 (法 律) Ⅰ 2 推 論 特 講 (法 律) Ⅱ 2			

学年 区分	1年		2年		3年		4年		単位数
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
基 共 通 科 目	<表現力養成科目>								
	入 門 演 習 I 2 入 門 演 習 II 2								
	<外国語科目>								
	共通英語コミュニケーション入門 2 共通英語コミュニケーション初級 2 共通英語コミュニケーション中級 2 共通英語コミュニケーション上級 2								
	共 通 英 会 話 入 門 2 共 通 英 会 話 初 級 2 共 通 英 会 話 中 級 2 共 通 英 会 話 上 級 2								
	ドイツ語入門Ⅰ-A 2 ドイツ語入門Ⅰ-B 2 ドイツ語入門Ⅱ-A 2 ドイツ語入門Ⅱ-B 2								
	フランス語入門Ⅰ-A 2 フランス語入門Ⅰ-B 2 フランス語入門Ⅱ-A 2 フランス語入門Ⅱ-B 2								
	中国語入門Ⅰ-A 2 中国語入門Ⅰ-B 2 中国語入門Ⅱ-A 2 中国語入門Ⅱ-B 2								
	ロシア語入門Ⅰ-A 2 ロシア語入門Ⅰ-B 2 ロシア語入門Ⅱ-A 2 ロシア語入門Ⅱ-B 2								
	ハンブルグ語入門Ⅰ-A 2 ハンブルグ語入門Ⅰ-B 2 ハンブルグ語入門Ⅱ-A 2 ハンブルグ語入門Ⅱ-B 2								
	イタリア語入門Ⅰ-A 2 イタリア語入門Ⅰ-B 2 イタリア語入門Ⅱ-A 2 イタリア語入門Ⅱ-B 2								
	ラテン語入門Ⅰ 2 ラテン語入門Ⅱ 2 ギリシャ語入門Ⅰ 2 ギリシャ語入門Ⅱ 2								
	中国語トレーニング 2								
	ド イ ツ 語 初 級 I 2 ド イ ツ 語 初 級 II 2								
	フ ラ ン ス 語 初 級 I 2 フ ラ ン ス 語 初 級 II 2								
	中 国 語 初 級 I 2 中 国 語 初 級 II 2								
	ロ シ ア 語 初 級 I 2 ロ シ ア 語 初 級 II 2								
	ハ ン グ ル 語 初 級 I 2 ハ ン グ ル 語 初 級 II 2								
	イ タ リ ア 語 初 級 I 2 イ タ リ ア 語 初 級 II 2								
	ド イ ツ 語 中 級 I 2 ド イ ツ 語 中 級 II 2								
フ ラ ン ス 語 中 級 I 2 フ ラ ン ス 語 中 級 II 2									
中 国 語 中 級 I 2 中 国 語 中 級 II 2									
ロ シ ア 語 中 級 I 2 ロ シ ア 語 中 級 II 2									
ハ ン グ ル 語 中 級 I 2 ハ ン グ ル 語 中 級 II 2									
イ タ リ ア 語 中 級 I 2 イ タ リ ア 語 中 級 II 2									
日 本 語 入 門 I 4 日 本 語 入 門 II 4									
日 本 語 初 級 I 4 日 本 語 初 級 II 4									
日 本 語 中 級 I 2									
日 本 語 中 級 II 2									
日 本 語 I 4									
日 本 語 II 4									
日 本 語 応 用 I 2 日 本 語 応 用 II 2									
<情報科目>									
情 報 リ テ ラ シ ー I 2									
情 報 リ テ ラ シ ー II 2									
<体育科目>									
体 育 実 技 1									
教 養 目 科	<Ⅰ類> (世界とわれわれ)								
	政 治 入 門 2 歴 史 入 門 2								
	異 文 化 交 流 論 2 企 業 経 営 問 題 の 最 先 端 2 国 際 関 係 論 2								
	国 際 交 渉 論 2								
	ア ジ ア 経 済 論 2 ア ジ ア 社 会 論 2 日 韓 関 係 の 歴 史 2								
	日 中 関 係 論 2 ロ シ ア 社 会 論 2								
	近 世 ・ 近 代 の 欧 州 2 現 代 ア メ リ カ の 経 済 と 社 会 2 国 際 政 治 学 2								
	西 欧 庶 民 生 活 の 原 像 2 西 洋 近 世 近 代 史 2 ヨ ー ロ ッ パ 文 明 史 2								
	ア ク テ ィ ブ ・ ラ ー ニ ン グ 2								
	<Ⅱ類> (現代社会と人間)								
	北 海 道 学 入 門 2 法 律 入 門 2								
	経 営 史 概 論 2 考 古 学 へ の 誘 い 2 社 会 学 入 門 2								
	生 活 と 文 化 2 福 祉 社 会 論 2 歴 史 学 概 論 2								
	歴 史 と 現 代 2								
	現 代 社 会 と 経 済 2 現 代 社 会 と 政 治 2 政 治 学 の 基 礎 2								
	法 の 基 礎 Ⅰ (憲 法) 2 法 の 基 礎 Ⅱ (民 法) 2								
	ア イ ノ の 歴 史 と 社 会 2 社 会 起 業 家 論 2 先 史 学 と 北 海 道 2								
	<Ⅲ類> (自然理解と情報)								
	数 学 入 門 2 環 境 問 題 入 門 2								
	解 析 基 礎 2 科 学 技 術 論 2 自 然 科 学 概 論 2								
自 然 と 哲 学 2 天 文 学 へ の 誘 い 2 統 計 学 基 礎 2									
論 理 学 概 論 2									
健 康 論 2 自 然 環 境 論 2 身 体 論 2									

区分	学年	1年		2年		3年		4年		単位数	
		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII		
共通科目	科目	人 社 会	類 と 情 報	学 2	地 球 環 境 の 科 学	2	動 物 の 行 動	2	情 報 デ ザ イ ン 論	2	
		<IV類> (人間と表現)									
		哲 学	入 門	2	心 理 学	入 門	2				
		近 代 哲 学	2	現 代 思 想	2						
		言 語 学 概 論	2	旅 と 文 学	2	日 本 語 表 現 法	2				
		日 本 語 論	2	文 学 と 現 代 社 会	2	文 学 と ジ ェ ン ダ ー	2				
		音 楽 通 論	2	楽 器 表 現 論	2	芸 術 論	2				
		心 身 実 習	A 2	心 身 実 習	B 2	神 話 と 芸 術	2				
		西 洋 美 術 史	2	ス ポ ー ツ と 文 化	2	表 現 と 文 化	2				
		目 科	キ ャ リ ア ア ッ プ 入 門 I	2	キ ャ リ ア ア ッ プ 基 礎 I	2	キ ャ リ ア ア ッ プ 応 用	2			
目 ア	キ ャ リ ア ア ッ プ 入 門 II	2	キ ャ リ ア ア ッ プ 基 礎 II	2							

備 考

1. 「コース科目」は、それぞれのコースを選択した者のみが履修できる。
2. 他学部履修による他学部専門科目の修得単位は、26単位まで共通科目として卒業必要単位数に算入できる。
3. 自由演習は複数履修できる。
4. 特講科目の修得単位は、卒業必要単位数に算入できない。
5. 体育実技の修得単位は、4単位まで共通科目として卒業必要単位数に算入できる。
6. 5セメスター以降の科目履修条件:①入門演習Ⅰ 2単位、入門演習Ⅱ 2単位を修得していること、②必修科目(法学入門、憲法入門、民法入門) 6単位を含む専門科目を20単位以上修得していること(自由科目を除く)、③修得単位の合計が40単位以上であること(自由科目を除く)。

(札幌大学学則 別表第7-(イ))